

# 菊陽人 りさーち



の きらり  
矢野 煌莉さん  
(8歳・辛川)

- 趣味  
体操
- 将来の夢  
一輪車の名人
- 今一番やりたいこと  
スキーをやってみたい
- お父さんとお母さんに伝えたいこと  
いつも優しくしてくれてありがとう

「菊陽人りさーち」に掲載を希望する人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



やまぐち たつや  
山口 達矢くん  
(8歳・辛川)

- 趣味  
野球
- 将来の夢  
スポーツ選手
- 今一番やりたいこと  
ヨーロッパに行きたい
- お父さんとお母さんに伝えたいこと  
僕を大切に育ててくれてありがとう

# ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権  
作文シリーズ  
【No.58】

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎232-2113

◇印からの文章は先生のコメントです。

## ありがとう

菊陽南小学校2年 嶋田 心葉

わたしは、二学期にありがとうをつたえたい人が二人います。  
一人目は、きらりさんです。きらりさんはいつしよにあそんでくれたり、かかりのしごとなどをわすれたときにおしえてくれたりしたからです。  
二人目は、あやかさんです。あやかさんは、あそんでくれたり、いっぱいしゃべってくれたり、しゅくだいがわからないうちなどに聞いたらわかりやすくおしえてくれるからです。  
わたしは、いっぱいあそんでくれたり、おしえてくれたりするあやかさんときらりさんがやさしいと思うし、うれしいなあと思います。わたしも二人のように、こまっているお友だちがいたらやさしくして、そのお友だちもうれしいきもちにしたいです。



▲ありがとうの友達いっぱい

◇心葉さんが2人の友達に「ありがとう」と思っているのと同じように、2人も心葉さんに「ありがとう」の気持ちを持っていきます。心葉さんたちのように

クラスのみんなが「ありがとう」を伝え合えば心がほかほか温かくなりますね。

## 人権標語



- 菊陽南小学校
- 友だちに なりたかったら 自分から 1年 鍋島美桜子
  - あいさつは 相手の心 開けるかき 3年 小牧 みゆ
  - なやみごと かかえこまずに 5年 矢野菜乃子
  - 二度としない 身近ないじめからなく そうよ それが平和への大きな一歩 6年 友田 陽天
- 菊陽西小学校 6年
- 本当の 心の声に 気付こうよ 廣野 萌
  - 一歩ずつ いじめや差別 ゼロの町 古庄 愛未
  - 言うだけなら誰でもできるし 意味がない。行動し、他人任せの自分の考えを自分で変える。 田木日南子
  - 「いけなごよ」その一言で すくわれる 江藤 美月
- 武蔵ヶ丘北小学校
- ごめんねえ いっしょに遊ぼう 1年 西川 彩那
  - 思いやる心と心で いじめなし 2年 石原 智弥
  - 友だちは ひとりひとり 4年 矢野 優
  - 「だいじょうぶ？」その一言が みんなを救う 6年 築山 日奈

- 菊陽北小学校
- いいわけをしない自分になる 6年 宇都 綾香
  - いけないと思ったことは伝えよう 6年 松永 北斗
  - 紙に書くだけじゃなく 6年 山部 優風
  - まず小さな事から変えていく
- これらの標語や人権ポスターは年末から年始めに掛けて菊陽町図書館で展示しました。たくさんのご来場ありがとうございました。

## 保育園・小学校の交流会



▲「人間知恵の輪ゲーム」で絡まった腕を必死に解く子どもたち (菊陽中校区の6年生)

町では、子どもたちが小学校や中学校に入学するときの不安を少なくするための手だてとして、小学校区ごとの保育園の年長児交流会や中学校区ごとの小6交流会を行っています。  
小6交流会では、それぞれの小学校の紹介をしたり、仲良くなるためのゲームをしたりして、学校間の垣根を超えななかまづくりができるようにしています。

## きくよう文芸

### 菊陽句会報

疵地蔵苔むすお顔石路の花	坂本百合子	検針の若者菊の香をめでて	井上久美子
黄落の水底ゆらぐ瀬音かな	田中 郁子	果てしなき雲海に浮く五岳かな	宮川ユキエ
根子岳の剣初雪に化粧せり	井 子文	新米の着きしと礼の涙声	日高 妙子
山眠るはらからのみの家族葬	財津 早雪	湯湯婆や無色の夢に深眠り	曾我 育代
黄落や澄みし天空 いっぱいに	原野レイ子	枯葉舞ふ走根踏ぎウオーキング	曾我トモ子
残菊や白き光の残る朝	力 幸子	捨てられし人參農家の吐息とも	紫藤 祥子
思ひ出や猫と並びし日向ぼこ	寺尾千代子	負けん気も齢にかたず懐手	村上 朋子
陸奥の祈り変わらじ竜の玉	高橋 孝子	十二月八日夢は空しや招魂碑	野口 令史
紅葉を愛するつもりの旅じたく	福田 貴子	忘れえぬ故郷からの雪便り	松橋 強
阿蘇の嶺静かに眠り雪化粧	佐藤 健	灯油売り待ちわぶ今日の寒さかな	藤本 純子
無為の身も嬉し勤勞感謝の日	佐藤 節	阿蘇を向く窓冠雪に目を凝らす	佐藤 澄世
冬至まで自作の南瓜飾り置く	吉野 早苗		

### 短歌会

足早に過ぎし今年の秋行き散りたる銀本に初雪の降る  
還暦を過ぎて六年経ちにけりまだまだ農の道は半ばか  
くれなゐの鶏頭燃えて秋の日の夕べしづかな日ぐれとなりぬ  
枝々を飛び交ふ目白の鳴く声を今朝の喜び椿の中に  
豊かさを纏いて人はデパートの光の中に吸い込まれゆく  
炉開きの床に生けるたる初嵐おのが心を凜とふるわす  
天草の島々遠くかすみつつ野釜島の海風ぎて広がる  
葉の緑土に映えある一株に寄り添ふごとく石路の花  
日は落ちて残照の空わたりたりあやしきまでに雲巻き流る

今村 貞子  
梅田 國雄  
河北 幸一  
菊川あさみ  
佐藤せい子  
松岡富紀子  
中村トシエ  
山川 カヅ  
松本 東亜